

**地域イノベーション戦略推進地域
いばらき次世代型健康産業・イノベーション創造戦略地域
(国際競争力強化地域) 終了評価結果**

(1) 地域イノベーション戦略の概要

○イノベーション推進協議会：

つくばイノベーション・エコシステム構築に向けた合同連絡会

○総合調整機関：一般社団法人つくばグローバル・イノベーション推進機構

○協議会構成機関：

【産】：一般社団法人つくばグローバル・イノベーション推進機構、一般社団法人茨城研究開発型企業交流協会

【学】：国立大学法人筑波大学、国立大学法人筑波技術大学、国立大学法人茨城大学、茨城県立医療大学

【官】：茨城県、つくば市、文部科学省研究交流センター、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構、農林水産省農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター、国立研究開発法人物質・材料研究機構、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構筑波宇宙センター、大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構、国立研究開発法人国立環境研究所、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構、国立研究開発法人理化学研究所、国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所、国立研究開発法人科学技術振興機構、株式会社つくば研究支援センター

【金】：株式会社常陽銀行、株式会社筑波銀行、株式会社三井住友銀行

○地域イノベーション戦略のテーマ：

グローバルな市場をリードする次世代型健康産業の創出・育成と連携拠点の形成

○地域イノベーション戦略の概要：

健康長寿社会の実現を目指し、つくば・東海地域に集積するイノベーションの創造に必要な資源（ロボット、BNCT、創薬をはじめとする様々な研究成果）や総合特区制度、国内外のネットワークを最大限に活用し、最先端の医療機器や革新的な医薬品等の開発、国際標準の獲得及び人材の育成等を通じて、5年間で重点的に次世代型健康産業の創出・育成と連携拠点の形成に取り組み、我が国の成長戦略に貢献する。

(2) 総評（総合評価：B）

茨城県は大学や研究機関が集積し、技術シーズの厚みがあり、日本のイノベーション創出を率いる役割が期待されている地域である。国際戦略総合特区の延長認定や地域イノベーション戦略推進地域の採択により、地域イノベーション構想実現へ向けた活動が実施されてきたことは評価できる。しかしながら各研究機関、民間企業、および金融機関等とのネットワークの強化やこれらの連携による資金獲得が進んでおらず、具体的なスキームの早期確立が望まれる。また、今回の事業を通じて、各研究機関の基本的なネットワーク構築の座組みができたので、引き続き持続的なイノベーション創出に向けた発展に期待したい。